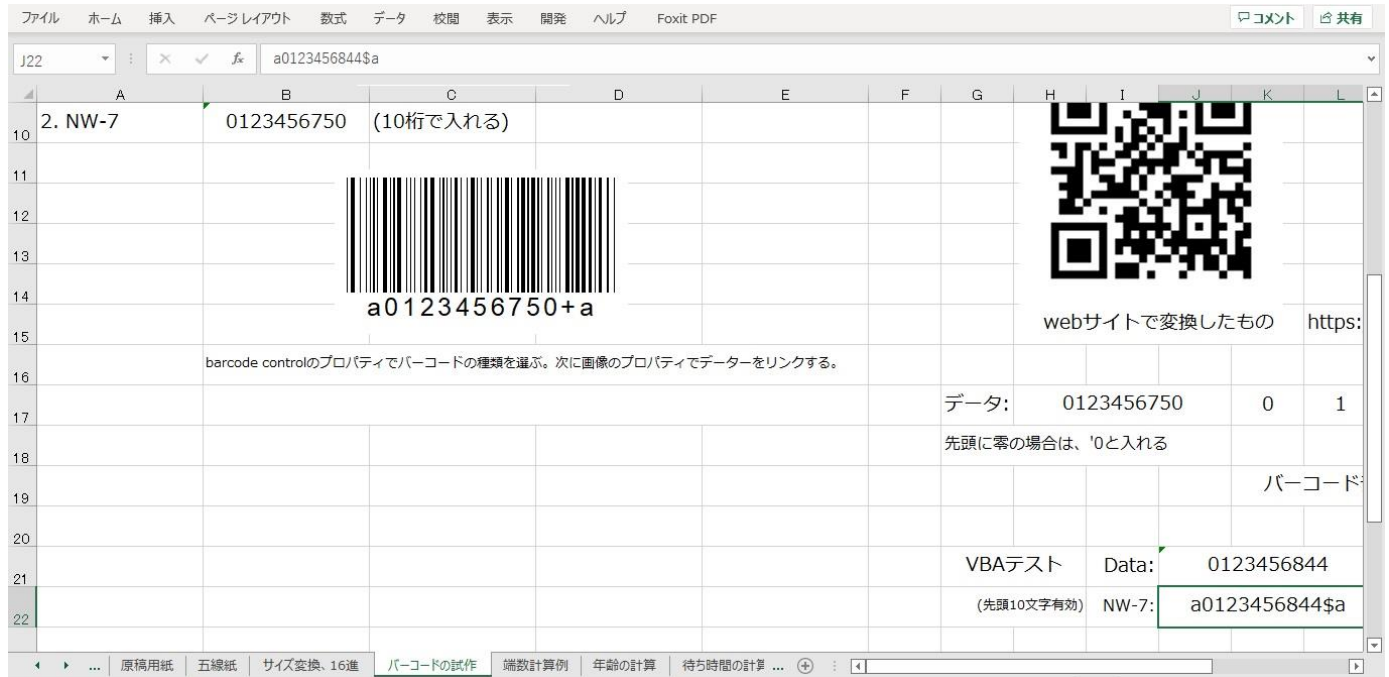


・ Access というデータ操作のソフトがあり、企業においてプログラミングに利用されている。そのオプションとしてバーコードなども扱われている。そこで Excel にも Access ランタイムという無償提供されている参照用環境をインストールすることでバーコードを作れることが紹介されている。インストール、Excel への展開などの作業を経て開発のアクティブコントロールの microsoft barcode 16 を稼働させるとバーコードのサンプルが出てくる。そのプロパティでバーコードの種類、バーコードにするデータをリンクさせてやると画像が作られる。



QR コードや JAN、NW-7 などが作成できる。

ここでは、NW-7 のデータを作るコーディングを記録する。

Sub bar7 の設定()

```

'          nw-7 バーコードの作成(先頭 10 文字)
Dim i, j, k
Dim wsheet
Dim mylen As Integer
Dim mystr As String
Dim wd(15) As String
Dim totalwork As Integer
Dim checkdata
Dim cd, modcd, wd11
wsheet = ActiveSheet.Name
Worksheets(wsheet).Activate
With Sheets(wsheet)

mystr = .Range("J21").Value    ' データを用意します

mylen = Len(mystr)            ' データの文字数を数えます

'          配列の要素数を確定します
'          ReDim wd(mylen)
'
'          1 文字ずつ配列に入れます
For i = 1 To mylen
    wd(i) = Mid(mystr, i, 1)
'          Debug.Print wd(i)

```

```

Next i
If mylen < 10 Then
  For j = mylen + 1 To 10
    wd(j) = 0
  Next
Else
End If

```

チェックデジットの計算

```

totalwork = 0
For k = 1 To 10
  totalwork = totalwork + wd(k)
Next

```

```

modcd = totalwork Mod 16
checkdata = 16 - modcd

```

チェックデジットの文字コード変換

```

If checkdata = 10 Then
  wd11 = "-"
ElseIf checkdata = 11 Then
  wd11 = "$"
ElseIf checkdata = 12 Then
  wd11 = ":"
ElseIf checkdata = 13 Then
  wd11 = "/"
ElseIf checkdata = 14 Then
  wd11 = "."
ElseIf checkdata = 15 Then
  wd11 = "+"
ElseIf checkdata = 16 Then
  wd11 = 0

```

```

Else
wd11 = checkdata
End If

```

```

.Range("J22").Value = "a" & wd(1) & wd(2) & wd(3) & wd(4) & wd(5) & wd(6) & wd(7) & wd(8) & wd(9) &
wd(10) & wd11 & "a"

```

```
End With
```

```
MsgBox "コードのセット完了です !!"
```

```
End Sub
```

10桁のコードデータにスタート、エンドコードとチェックデジットを計算して渡してやると下記のようなバーコード図柄ができる。



EXCEL で出来上がった図柄をコピーして WORD に貼り付けたとき図柄の線が抜けたりした。これは、ペイントにプリントスクリーンで貼り付けて切り出したものです。プリンターのインク代もままならないから黒一色になるのだと思いますが。。運用を別にすれば、作り出すのはできました。